

令和3年度



東明小だより

第8号 令和3年10月26日(火)

精一杯やり切った「自信」と「誇り」 ～運動会を行いました～

校長 奥村 哲也

10月16日(土)に無事、運動会を行うことができました。保護者の皆さまには、手指消毒や体温チェック、人数制限などコロナ対策にご協力いただき、温かい応援を賜り誠にありがとうございました。子どもたちの姿はいかがだったでしょうか。

1・2年生は、『ダイナマイト』の曲に合わせて、楽しくダンスをすることができました。2年生のある児童は、踊りが終わって教室に戻ると、感極まって大声で泣き出したそうです。多くの人に見られるというプレッシャーから解放されたことと精一杯やり切ったという思いで胸がいっぱいになったようです。



2021/10/16 1・2年生のダンス

3・4年生は、60メートル走にチャレンジしました。走ることが苦手な児童も、最後まで一生懸命に走り切ることができました。

5・6年生は『ソーラン節』を踊り切りました。最初はみんなの動きがそろわずに苦戦していましたが、何度も練習を繰り返し、本番では、見事に動きがそろいました。踊り終わった後の子どもたちの満面の笑顔が印象的でした。

また、5・6年生は、それぞれの係を受け持ちました。出発係でピストルを鳴らす子、器具係で重い道具を運ぶ子、放送係でアナウンスをする子、決勝係で順位を確かめる子…それぞれの役割を果たしました。執行部で開会式を担当した児童は、「ドキドキする」「緊張する」と言いながらも、堂々とあいさつをすることができました。東明小学校のリーダーとして活動した5・6年生の姿は、とても立派でした。

突然話は変わりますが、先日、野菜を育てている知り合いから「根っこ」の話をお聞きしました。ポットで育てた苗を畑に植え付けているのを見て、私が「どうして初めから畑に種をまかないのか」と尋ねたところ、「野菜の種から芽が出て根っこが張ってくる。根っこがポットに当たると、その壁に負けまいと根っこをどんどん増やす。さらにポットの壁を突き破ろうとして根っこが太く強くなる。それで、ポットの方が立派な苗に育つという訳だ。」と教えてくれました。野菜も人と同じで、適度抵抗があることで、よりたくましく成長するのだということを知りました。

子どもたちは、この運動会に精一杯取り組み、最後までやり切ることで、それぞれがそれぞれの壁を乗り越えました。たくましく成長した子どもたちに拍手を贈りたいと思います。そして、その精一杯やり切ったという「自信」と「誇り」が、この先立ち向かうであろう新たな壁を乗り越えていく原動力になっていくことを願います。